SOKA University Discover your potential

2027 年度

創価大学大学院

博士後期課程

[入試要項]

一般入学試験・進学選考試験

経済学研究科	経済学専攻
法学研究科	法律学専攻
文学研究科	英文学専攻
	社会学専攻
	人文学専攻
教育学研究科	教育学専攻

内容

Ⅰ　＜入学試験概要＞　博士後期課程 3
1. 募集研究科・専攻・募集定員 3
2. 入学試験日程 3
3. 出願の流れ・方法 4
4. 出願上の注意事項 5
5. 試験会場 6
6. 合格発表 6
7. 入学手続 6
【共通の注意事項】 7
【経費支弁について（外国籍を保有する留学生のみ）】 7
Ⅱ-1　＜入学試験制度＞　博士後期課程：進学選考試験 9
Ⅱ-2　＜入学試験制度＞ 博士後期課程：一般入学試験 11
Ⅲ　入学試験 【共通事項】 博士後期課程 15
1. 選考試験科目・時間帯 15
経済学研究科　経済学専攻 15
法学研究科　法律学専攻 17
文学研究科　英文学専攻 18
文学研究科　社会学専攻 18
文学研究科　人文学専攻 19
教育学研究科　教育学専攻 19
Ⅳ　奨学金制度について 20
１．日本学生支援機構奨学金 20
２．創価大学牧口記念教育基金会大学院生奨学金【給付型】 20
3. 創価大学大学院留学生奨学金 スカラシップ選考について 21
Ⅴ．その他 21

Ⅰ　＜入学試験概要＞　博士後期課程

1. 募集研究科・専攻・募集定員

研　究　科	専　　攻	募 集 定 員
		博士後期課程
経済学研究科	経済学専攻	5 名
法学研究科	法律学専攻	3 名
文学研究科	英文学専攻	5 名
	社会学専攻	5 名
	人文学専攻	4 名
教育学研究科	教育学専攻	2 名

※ 上記の募集定員は、一般入学試験・進学選考試験の入試制度を合わせた全体の募集人数です。

2. 入学試験日程

【博士後期課程】＜2027 年春学期（4 月）入学入試日程＞

入試制度	対　象	出願期間	選考試験日	合格発表日	手続期間
進学選考	経済学研究科 法学研究科 文学研究科 教育学研究科	2026 年 11 月 9 日（月） ～12 月 7 日（月）	2027 年 2 月 6 日 （土）	2027 年 2 月 12 日 （金） 11:00	2027 年 2 月 22 日(月) ～3 月 1 日(月)
一　　般					

3. 出願の流れ・方法

STEP1

WEB 出願システム The Admission Office（TAO）にアクセス

出願および出願書類の提出は、The Admission Office（以下、TAO）から行ってください。

創価大学大学院 WEB 出願ページ（TAO）

ユーザー登録等の利用方法の詳細については、以下マニュアルをご参照ください。

TAO 利用マニュアル

The Admissions Office
Offering the choice of colleges from the world map

STEP2

出願書類の準備

受験する入試によって必要な書類が一部異なります。詳細は p.9~p.13 をご確認ください。

STEP3

出願書類を TAO にアップロード

WEB 出願システム TAO より、必要な出願書類をアップロードしてください。出願書類の郵送は不要です。

成績証明書･卒業証明書は合格後に原本を提示または提出いただきます。

STEP4

検定料（33,000 円+決済手数料）のお支払い

Flywire (フライワイヤー)による検定料の支払いをお願いします。

日本国内からの支払いの場合、クレジットカードによる支払いのみ受付できます。

海外からの支払いの場合、滞在国によって利用できる決済手段が異なります。

- **決済手数料は Flywire 上で選択する決済手段によって金額が異なります。**
- **決済手数料については、お手数ですがご負担をお願いします。**

flywire フライワイヤー

STEP5

受験票をダウンロード

TAO 上に受験票が発行されますので、入試当日に印刷をしてお持ちください。

●問い合わせ先：創価大学　学事部学事第 2 課大学院係

TEL:　042-691-9423　Email: gsoffice@soka.ac.jp

●窓口受付時間：平日午前 9 時 30 分～午後 5 時・土曜午前 9 時 30 分～12 時

※12 月下旬～1 月上旬の冬季休業期間中は、窓口が閉まっていますのでご注意ください。

（休業日程の詳細はホームページ上でご確認ください）

4. 出願上の注意事項

(1) 出願書類等に不備があるもの、及び出願期間を過ぎて提出されたものは、選考の対象とはしません。
(2) 出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、次のような対応をとることがあります。
・当該年度における本学入学試験の出願を不受理とする（入学検定料の返金は行わない）
・当該年度における本学入学試験の結果を無効とする
(3) 出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、ならびに試験において不正行為があったことを示す証拠が発見された場合には、合格後や入学後であっても遡って、合格・入学許可を取り消すことがあります。
(4) 受理された出願書類の記載事項についての変更及び、出願受理後の研究科・専攻の志望の変更は認めません。
(5) 一度支払われた検定料は、原則として返還しません。
(6) 提出された各種証明書等が、日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、必ず日本語または英語の翻訳を添付すること。
（国際平和学研究科及び文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修については、英語翻訳のみ受付を可能とする。日本語のみの書類についても、必ず英訳を添付すること）
(7) 出願書類が受理されると、WEB 出願システム TAO 上にて、受験票が PDF 形式で発行されます。受験票は各自印刷の上、受験当日にお持ちください。
(8) 成績証明書・卒業証明書の原本は、合格後に窓口へ提出または提示される必要があります。

※指導教員の決定について
①開講科目・担当教員一覧に注印がついている教員、兼担の記載がある教員、客員教授・兼任講師は、指導教員にすることはできません（博士前期／修士課程、博士後期課程とも）
②博士後期課程の指導教員の詳細は、指導教員一覧ページをご確認ください。

5. 試験会場

創価大学中央教育棟（東京都八王子市丹木町 1-236）

- 試験開始２０分前までに指定された試験会場（フロア）に集合してください。
- 試験教室等の詳細は、現地に掲示します。

6. 合格発表

合否については、合格発表日の午前 11 時に WEB 出願システム「The Admission Office (TAO)」にて発表いたします。

①合格通知書及び入学手続き等のご案内は、後日電子メールにてお送りします。
②合否に関する、電話・メール・郵便等での問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続

合格者は、所定の期間内に入学手続・納入をしてください。ただし詳細については、合格発表の際に文書で通知します。

【博士後期課程】

入学金、学費等の納入及び入学手続書類の提出を一括して行います。

項　　目	納　入　額	対 象 者
入　学　金	免　除	本学博士前期／修士課程修了者
	200,000 円	上記以外

（2026 年度実績／参考）

項　　目	一括払い	2 回分割払い	
	入学手続時 （年間学費）	入学手続時 （半年分学費）	秋学期納入時 （半年分学費）
授　業　料	510,000 円	255,000 円	255,000 円
合　　計	510,000 円	255,000 円	255,000 円

（2026 年度実績／参考）

【共通の注意事項】

① 納入期間内に手続を行わない場合は、合格を取り消します。
② 授業料等は、手続期間内に必ず完納してください。春学期入学の場合の納入回数は、1 回払い（入学手続時に年間学費の一括納入）又は、2 回分割払い（春学期半年分・秋学期半年分の分割納入）が選択できます。秋学期入学の場合の納入回数は、半年分の学費の 1 回払いのみです。
③ 入学手続後、事情により入学を辞退する場合があっても入学金は返還しません。事情により入学を辞退する場合は、入学金を除く授業料等を返還します。但し、入学式の前日までに届け出のあった場合に限ります。

【経費支弁について（外国籍を保有する留学生のみ)】

(1) 経費支弁の基準
外国籍を保有する留学生については、出願に際して預金残高証明書または奨学金給付証明書で証明する金額は 1 年間分の生活費（月額 10 万円程度）及び学費とし、日本円で概ね 171 万円以上を基準とします。
なお、創価大学大学院留学生奨学金のスカラシップ選考への出願を同時に行う場合は、預金残高証明書等で証明する金額が 171 万円未満でも出願を認めます。ただし、留学ビザ取得手続き（在留資格認定証明書交付申請または在留期間更新手続き）の際、法務省（出入国在留管理庁）において日本滞在に必要な経費支弁に関する審査が行われ、その結果、COE 不交付または在留期間更新が不許可となった場合は本学への入学が許可されませんので注意してください。

(2) 経費支弁者になれる方
経費支弁者とは、本学在学中の学費や生活費について責任をもって支払う人をいいます。経費支弁者は一定の収入または預貯金がある両親または親族（居住国は問いません）とすることが一般的ですが、出願者本人に留学費用を支弁する十分な預貯金がある場合は自分を経費支弁者とすることもできます。また、複数人が経費支弁者になることも可能です。
親族などに経費支弁者となる方が見つからない場合など、やむを得ない事情がある場合は、友人・知人を経費支弁者とすることもできますが、この場合は経費支弁同意書に経費支弁を引き受けた経緯と理由を詳細に記入して提出してください。ただし、友人・知人から将来返済を前提とした留学費用の貸与を受ける場合は経費支弁者とすることはできません。また、友人・知人を主たる経費支弁者とする場合は、COE の審査がより厳しく行われることがありますので、注意してください。

(3) 経費支弁書の作成方法
出願の際に提出する経費支弁書については、以下の要領により経費支弁の裏付けとなる書類を添付してください。経費支弁者が複数人いる場合や奨学金と併用する場合は、すべての預金残高証明書と奨学金給付額（年額）の合計が 171 万円以上（スカラシップ選考へ申し込む場合は 171 万円未満でも可）であることを示すこと。

① 本人が経費を支弁する場合:
- 本人名義の預金残高証明書

② 本人以外が経費を支弁する場合（日本国内居住者を含む）
- 経費支弁同意書（所定の用紙に経費支弁者が署名したもの）
- 支弁者名義の預金残高証明書
- 在職証明書
- 年収証明書
- 志願者本人との関係を証明する書類（戸籍謄本、住民票、親族公証書等）

③ 奨学金で支弁する場合（創価大学牧口記念教育基金会留学生奨学金は含まない）
- 奨学金給付額、給付期間、給付期間が明記された奨学金給付証明書

Ⅱ-1　＜入学試験制度＞　博士後期課程：進学選考試験

1．出願資格

本学大学院博士前期課程を 2026 年度修了または修了見込の者で、同一専攻の後期課程に進学を希望する者。

＊大学院での学業成績が、ＧＰＡ3.3 以上で、2027 年 3 月修了見込の者。ただし、2026 年 9 月に修了する者については出願を許可する。

2．出願書類

※ 出願書類は全てウェブ出願システム The Admission Office (TAO)を経由して提出してください。個別メール等での提出は受付できかねます。

※ 本学所定の出願書類については、文系大学院ホームページ「文系大学院 入試情報」→「出願書類」からダウンロードしてください。

種類	出願書類及び注意事項
A	顔写真のデータ ＊最近 3 ヶ月以内に撮影した顔写真で、3 ㎝×4 ㎝ 上半身・無帽・無背景のもの。カラー可。 ＊WEB 出願システム TAO 上で登録すること。
B	出身大学の成績証明書の写し
C	創価大学大学院（博士前期/修士課程）の成績証明書の写し
D	志望理由書および入学後の研究計画 ＊本学所定の用紙（D 票）を使用すること。
E	推薦書（任意提出） 推薦書の提出を希望する者は、本学所定の用紙（E-1 票）を使用して推薦書の作成を推薦者（指導教授）に依頼すること。前期課程の指導教授と後期課程の希望指導教授が異なる場合に、前期課程の指導教授に作成を依頼してください。（提出については任意） 推薦書提出の手順は、以下の通り。 ① 受験者は推薦者のメールアドレスを WEB 出願システム TAO 上に登録する ② 推薦者に推薦状提出フォームがメールで自動配信される ③ 推薦者は届いたメールに記載されたリンクにアクセスし、受験者の推薦書（PDF ファイル）をアップロードする

F	英語能力証明書類（経済学研究科のみ） ＊経済学研究科に出願する者は、外国語の筆記試験を実施しない代わりに、所定の英語能力証明書類を提出すること。 ・提出可能な英語能力証明書類：TOEFL、TOEIC、TOEIC-IP、IELTS ＊なお、出願時より 2 年以内に TOEFL iBT 及び IELTS を受験したことがある場合、実施機関を通じて本学に直接スコアを提出することができます。 ■ TOEFL iBT：ETS ウェブサイトにて大学コード「B413」を選択してください。 ■ IELTS：IELTS 試験実施機関に問い合わせの上、大学名「Soka University Graduate School」宛にスコアを提出するようご依頼ください。 ＊英語を母語とする受験者は「高校及び大学の卒業証明書」を提出することによって、上記書類の提出を免除する場合がある。ただし、高校・大学の教育が英語で実施されたことが卒業証明書から判定できない場合、受験者が卒業・終了した教育機関が発行する「英語で教育を受けたことが明記された証明書」を添付すること。
I	進学願 ＊本学所定の用紙（I 票）を使用すること。
J	経費支弁書（外国籍を保有する留学生のみ） 外国籍を保有する留学生については、本学大学院在学中における学費・生活費の支弁方法について WEB フォーム上に必要事項を入力してください。また、経費支弁の裏付けとなる書類のスキャンコピーを WEB 出願ページ上にアップロードしてください。詳しくは「経費支弁について」を参照してください

3. 検定料: 33,000 円+決済手数料
WEB 出願ページ上にて出願時にお支払いください。支払い時に発生する手数料は各自の負担となります。（金額は決済手段により異なります）

Ⅱ-2　＜入学試験制度＞ 博士後期課程：一般入学試験

１．出願資格

(1) 修士の学位を有する者、または 2026 年度大学院修士課程修了見込みの者。
(2) 専門職学位を有する者、または 2026 年度専門職大学院修了見込みの者。
(3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
(5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
(6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
(7) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
(8) 文部科学大臣の指定した者。
(9) 当該研究科委員会において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者。

※上記出願資格(4)～(9)により出願しようとする者は、以下の通り事前に出願資格審査を行います。

●出願資格認定申請について
(1) 出願資格認定申請期間

入試区分	出願資格認定申請期間	審査結果通知時期
一般入学試験	2026 年 9 月 1 日~9 月 30 日	2026 年 11 月上旬

(2) 申請書類
(a) 出願資格認定申請書（所定用紙：G 票）
(b) 出願資格認定申請理由書（所定用紙：H 票）
(c) 最終学校の成績証明書（写し）

［申請書類作成時の注意事項］
出願資格認定申請書および理由書には，学習歴，研究歴，実務経験，研究業績を含めて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると考えられる理由を記述すること。なお、研究歴，研究業績に関す

る 参考資料があれば添付すること。

(3) 提出方法

上記書類の申請書類(a)~(c)の PDF ファイルを以下のフォームよりアップロードしてください。

【出願資格審査申請フォーム】https://forms.gle/jb7f2vox3ChTjTKMA

(4) 審査方法：書類審査および学力審査

学力審査に当たっては、必要に応じて口述試験を行う場合があります。 実施については、対象者に追ってお知らせいたします。

(5) 資格審査の通知

審査結果は上記日程表に記載の通り、本人に通知します。

出願資格「有」の認定を受けた者は、次頁以降の要綱に従い、出願してください。

2. 出願書類

※ 出願書類は全てウェブ出願システム The Admission Office (TAO)を経由して提出してください。個別メール等での提出は受付できかねます。

※ 本学所定の出願書類については、文系大学院ホームページ「文系大学院 入試情報」→「出願書類」からダウンロードしてください。

種類	出願書類及び注意事項
A	顔写真のデータ ＊最近 3 ヶ月以内に撮影した顔写真で、3 ㎝×4 ㎝ 上半身・無帽・無背景のもの。カラー可。 ＊WEB 出願システム TAO 上で登録すること。
B	出身大学の成績証明書の写し ＊全学年にわたるもの。出身大学で申請すること。
C-1	出身大学院（博士前期課程）の成績証明書の写し ＊出身大学院で申請すること。
C-2	出身大学院（博士前期課程）の修了(見込)証明書（博士前期／修士課程）の写し ＊出身大学院で申請すること。修士の証明を含むこと。 ＊修了見込証明書を提出した者は、修了後すみやかに卒業証明書を提出すること。（卒業証明書が発行されない場合は「C－3 学位記の写し」を提出すること）
C－3	学位記の写し ＊学位記を取得したことを証明するもの。修了証明書に明記されている場合は、改めて提出する必要はない。また、修士号取得を証明するものがない場合は、出身大学の学長等による大学院への進学資格を証明する書類を提出すること。
D	志望理由書および入学後の研究計画 ＊本学所定の用紙（D 票）を使用すること。
E	推薦書（任意提出） 推薦書の提出を希望する者は、本学所定の用紙（E-1 票）を使用して推薦書の作成を推薦者に依頼すること。 推薦書提出の手順は、以下の通り。 ① 受験者は推薦者のメールアドレスを WEB 出願システム TAO 上に登録する ② 推薦者に推薦状提出フォームがメールで自動配信される 推薦者は届いたメールに記載されたリンクにアクセスし、受験者の推薦書（PDF ファイル）をアップロードする

F	英語能力証明書類（経済学研究科のみ） ＊経済学研究科に出願する者は、外国語の筆記試験を実施しない代わりに、所定の英語能力証明書類を提出すること。 ・提出可能な英語能力証明書類：TOEFL、TOEIC、TOEIC-IP、IELTS ＊なお、出願時より 2 年以内に TOEFL iBT 及び IELTS を受験したことがある場合、実施機関を通じて本学に直接スコアを提出することができます。 ■ TOEFL iBT：ETS ウェブサイトにて大学コード「B413」を選択してください。 ■ IELTS：IELTS 試験実施機関に問い合わせの上、大学名「Soka University Graduate School」宛にスコアを提出するようご依頼ください。 ＊英語を母語とする受験者は「高校及び大学の卒業証明書」を提出することによって、上記書類の提出を免除する場合がある。ただし、高校・大学の教育が英語で実施されたことが卒業証明書から判定できない場合、受験者が卒業・終了した教育機関が発行する「英語で教育を受けたことが明記された証明書」を添付すること。
J	経費支弁書（外国籍を保有する留学生のみ） 外国籍を保有する留学生については、本学大学院在学中における学費・生活費の支弁方法について WEB フォーム上に必要事項を入力してください。また、経費支弁の裏付けとなる書類のスキャンコピーを WEB 出願ページ上にアップロードしてください。詳しくは「経費支弁について」を参照してください
K-1	修士論文又はリサーチペーパー1 部（該当者のみ） ＊修士課程修了（見込）の者のみ提出すること。（本学大学院修了の者は提出不要）
K-2	志望科目に関わるレポート（該当者のみ） ＊法科大学院修了（見込）の者のみ提出すること。 ＊7,000 字以上
K-3	修士論文等の要旨 4,000 字以内。 （人文学専攻・教育学専攻出願者は日本語で書いたものを提出すること）
L	受験承諾書（該当者のみ） 現在、フルタイムで在職している場合、所属長に本学博士後期課程への出願に関して、事前に承諾を得て任意様式の承諾書を提出すること

3. 検定料: 33,000 円+決済手数料
WEB 出願ページ上にて出願時にお支払いください。支払い時に発生する手数料は各自の負担となります（金額は決済手段により異なります）。

Ⅲ　入学試験 【共通事項】 博士後期課程

1. 選考試験科目・時間帯

進学選考試験・一般入学試験では、専攻により選考方法が異なる場合があるので注意してください。

経済学研究科　経済学専攻

【進学選考試験】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
経済学専修	外国語	―	書類審査（英語能力証明書類）	―
	専門科目①	出願時に1科目選択	計量経済学、数理統計学、グローバル経済論、経済史、国際貿易論のうちから1科目選択	10：30～12：00
	専門科目②	出願時に1科目選択	経済学専修でこれまで履修した選択科目・選択必修科目の中から1科目選択	
	口頭試問	―	（学位論文を完成させる能力とコア科目の体系的基礎知識の有無のチェック）	13：00～
経営学専修	外国語	―	書類審査（英語能力証明書類）	―
	専門科目①	出願時に1科目選択	管理会計、人的資源管理論、経営管理論、財務管理論、経営戦略論、国際経営論のうちから1科目選択	10：30～12：00
	専門科目②	出願時に1科目選択	経営学専修でこれまで履修した選択科目・選択必修科目の中から1科目選択	
	口頭試問	―	（学位論文を完成させる能力とコア科目の体系的基礎知識の有無のチェック）	13：00～

【一般入学試験】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
経済学専修	外国語	―	書類審査（英語能力証明書類）	―
	専門科目①	出願時に 1科目選択	計量経済学、数理統計学、グローバル経済論、経済史、国際貿易論のうちから1科目選択	10：30～ 12：00
	専門科目②	出願時に 1科目選択	計量経済学、数理統計学、グローバル経済論、経済史、国際貿易論のうちから1科目選択（専門科目①と同じ科目を選ぶこともできます。）	
	口頭試問	―	（学位論文を完成させる能力とコア科目の体系的基礎知識の有無のチェック）	13：00～
経営学専修	外国語	―	書類審査（英語能力証明書類）	―
	専門科目①	出願時に 1科目選択	管理会計、人的資源管理論、経営管理論、財務管理論、経営戦略論、国際経営論のうちから1科目選択	10：30～ 12：00
	専門科目②	出願時に 1科目選択	管理会計、人的資源管理論、経営管理論、財務管理論、経営戦略論、国際経営論のうちから1科目選択（専門科目①と同じ科目を選ぶこともできます。）	
	口頭試問	―	（学位論文を完成させる能力とコア科目の体系的基礎知識の有無のチェック）	13：00～

法学研究科　法律学専攻

【進学選考試験・一般入学試験共通】

<table>
<tr><th rowspan="2">専修名</th><th rowspan="2">博士前期修了形態</th><th colspan="3">試験科目</th><th rowspan="2">試験時間</th></tr>
<tr><th>科目群</th><th>選択方法</th><th>科目名</th></tr>
<tr><td rowspan="10">―</td><td rowspan="3">修士論文作成</td><td>外国語</td><td>出願時に
1科目選択</td><td>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルのうちから1科目選択
（辞書使用不可）</td><td>10：30～
12：00</td></tr>
<tr><td>口頭
試問</td><td>―</td><td>（専門科目を中心として）</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td colspan="4">＊修士論文に対する評価を行い、これを合否判定の参考とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">リサーチペーパー作成
（特定の課題についての研究の成果）</td><td>外国語</td><td>出願時に
1科目選択</td><td>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルのうちから1科目選択
（辞書使用不可）</td><td>10：30～
12：00</td></tr>
<tr><td>口頭
試問</td><td>―</td><td>（専門科目を中心として）</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td colspan="4">＊リサーチペーパー（特定の課題についての研究成果）に対する評価を行い、これを合否判定の参考とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">法科大学院修了</td><td>外国語</td><td>出願時に
1科目選択</td><td>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルのうちから1科目選択
（辞書使用不可）</td><td>10：30～
12：00</td></tr>
<tr><td>口頭
試問</td><td>―</td><td>（専門科目を中心として）</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td colspan="4">＊志望科目に関わるレポートを合否判定の参考とする。</td></tr>
</table>

※　外国人が受験する場合には、外国語選択科目として日本語を追加することがある。

文学研究科　英文学専攻

【進学選考試験】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
英語英米文学専修	口頭試問	―	（専門科目を中心として）	13：00～
	書類選考	―	修士論文またはそれに相当する業績	―

【一般入学試験】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
英語英米文学専修	外国語	―	英語	10：30 ～ 12：00
	口頭試問	―	（専門科目を中心として）	13：00 ～
	書類選考	―	修士論文またはそれに相当する業績	―

※ 出願前に、自分の興味・研究テーマに近い分野の教員と連絡を取ること。
（入試窓口を通じて連絡を取ってください）

文学研究科　社会学専攻

【進学選考試験・一般入学試験共通】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
グローバル・スタディーズ専修	外国語	出願時に１科目選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうちから１科目選択（辞書使用不可）	11：00～ 12：00
	口頭試問	―	（専門科目を中心として）	13：00～

文学研究科　人文学専攻

【進学選考試験・一般入学試験共通】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
哲学歴史学専修	外国語	―	英語、ドイツ語、フランス語のうちから１科目を選択。（辞書使用不可） ※ 外国人が受験する場合には、母語以外の言語を選択すること。	10：30～ 12：00
	口頭試問	―	（専門科目を中心として）	13：00～
日本文学日本語学専修	専門科目	―	以下の①②を解答する。 ①専修共通問題１問 ②専修ごとの選択問題１問（受験者の研究希望分野を考慮して出題する）	10：30～ 12：00
	口頭試問	―	（専門科目を中心として）	13：00～
仏教学専修	外国語	出願時に２科目選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうちから２科目を選択。（辞書使用不可） ※ 外国人が受験する場合には、母語以外の２ヶ国語を選択することとし、選択科目に日本語を追加することがある。	10：30～ 12：00
	口頭試問	―	（専門科目を中心として）	13：00～

教育学研究科　教育学専攻

【進学選考試験・一般入学試験共通】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
―	外国語	―	英語（辞書使用不可）	10：30～ 12：00
	口頭試問	―	（専門科目を中心として）	13：00～

Ⅳ　奨学金制度について

１．日本学生支援機構奨学金

《出願資格》

人物・学業成績ともに特に優れ、かつ健康であって、大学院において研究を継続するには、日本学生支援機構の奨学金の貸与が必要であると認められる者に限ります。

なお、標準（最短）修業年限を超えて在学する者及び留学生は出願資格がありません。

《奨学金の概要》

種　　類		貸与月額	貸与始期	貸与期間
博士後期課程	第一種（無利子）	80,000円、122,000円	4月	3年間
	第二種（有利子）	5万・8万・10万・13万・15万から選択		

（2024年度参考）

２．創価大学牧口記念教育基金会大学院生奨学金【給付型】

本学の文系・理系大学院が、建学の精神に立脚した優れた研究者と高度専門職業人等の輩出によって人類社会により一層貢献することを目的に、本学大学院生で、人物、学業成績ともに優秀であると認められる者に奨学金が給付される。

《出願資格》

人物、学業成績ともに優秀で、本学大学院博士課程または修士課程に所属する大学院生とする。（学内の他の給付奨学金採用者は、対象から除く）

《給付額》

奨学金の給付は入学時１回限りとし、春セメスターに20万円を一括給付する。

《選考基準》

当該年度春セメスターの入学生と、前年度秋セメスターの入学生のなかで、入試成績が優秀であったものを、研究科・専攻・課程別の採用数に従って選考する。

3. 創価大学大学院留学生奨学金（スカラシップ選考）について

(1) 応募資格

以下の２つの要件をすべて満たす方

1. 本学大学院入試（経済学研究科・法学研究科・文学研究科・教育学研究科・国際平和学研究科）への受験資格を満たしている外国人留学生で、外国籍（日本国籍以外）を有する方
2. 本給付奨学金受給対象者の選抜（以下、スカラシップ選考という）を実施する入学試験の受験者

(2) 給付金額

博士後期課程 （経済学・法学・文学・教育学）	年間 40 万円

(3)支給期間・時期

- 給付期間は標準修業年限以内とし、博士後期課程は 3 年間給付します。
- 奨学金は大学院に入学後、所定の手続きを経たうえで春学期、秋学期の２回に分けて給付します。入学手続き時に支払う費用（入学金、学費）には充当できませんのでご注意ください。
- 本学内における他の奨学金制度との併用は認められません。
- ただし、本奨学金制度は他団体奨学金との併用を認めています。なお、他の奨学金のなかには本奨学金との併用を認めないものもありますので、詳細は当該団体に確認してください。
  （国費留学生として採択された場合は、文科省の定めにより本奨学金を受給することはできません）

(4) 申請および選考方法

スカラシップ選考を実施する各大学院入試において、成績優秀な合格者から順に、支給人数枠内で選抜します。
スカラシップ選考を実施する大学院入試の受験者は、対象となる入試の出願時に WEB 出願システム（TAO）内でスカラシップ選考の希望有無を選択することができます。選考を希望する受験者は必ず「スカラシップ選考を希望する」を選択してください。
研究科によって、スカラシップ選考を実施する入試は異なります。必ず事前に確認してください。

●スカラシップ選考を行う文系大学院入試

博士課程後期課程（D）　春入学入試（4 月入学）		
研究科名	スカラシップ選考を実施する入試	選考日
経済学研究科	進学選考試験・一般入学試験	2027 年 2 月 7 日
法学研究科		
文学研究科		
教育学研究科		

その他、スカラシップ選考の詳細については、下記のホームページよりご確認ください。

●創価大学大学院留学生奨学金（給付奨学金）受給対象者の選抜について

Ⅴ． その他

1. 既修得単位の認定及び在学期間の短縮について

入学前に他大学院等で修得した単位は、研究科委員会において教育研究上有益と認められた場合、15単位を超えない範囲で当該研究科の修了単位数に加えることができます。また、博士前期課程及び修士課程においては、その認定単位数及びその修得に要した期間等を勘案して、1年間を上限に在学期間を短縮できる場合があります。詳細は、入学後大学院係までお問い合わせください。

2. 在留資格認定証明書の申請とビザの取得について

入学を許可された外国籍の者は原則として在留資格「留学」の取得が必要です。入学手続きの際在留資格取得、入国および滞在に関する手続きをすることになります。

日本に新規に入国するために留学ビザを取得する場合は、ビザ手続きに必要な「在留資格認定証明書（COE)」の交付申請を大学が代理で申請を行います。入学手続きの際に「在留資格認定証明書交付のための書類」（申請書、パスポートのコピー、規格を満たす顔写真）を提出してください。

※注意事項※

・「在留資格認定証明書」についての許可は日本国政府が定める基準に基づき法務省が行うものです。同証明書が不交付となった場合は本学への入学が許可されませんので、注意してください。

・審査の過程で出入国在留管理局より追加の証明書等の提出を求められることがあります。この場合は、大学から連絡しますので、指示された書類を速やかに提出してください。